

12月・1月の予定

◆:☀グループ午前保育

日	曜	行事予定	日	曜	1月の行事予定
1	金	安全指導	1	月	元日
2	土		2	火	
3	日		3	水	(12/29~1/3年末年始のため休園)
4	月	体重測定(全学年)	4	木	☆ほしグループ保育始
5	火	避難訓練	5	金	
6	水		6	土	
7	木	アイアイ	7	日	
8	金		8	月	成人の日 ☀冬季休業日終
9	土	◆:ぱんだ組・きりん組堀ノ内劇場 ① うさぎ組土曜保育	9	火	◆始業式 獅子舞 安全指導
10	日		10	水	☀弁当始め 避難訓練
11	月	☀振替休業日	11	木	身体測定(全学年)
12	火	きりん組 個人面談 アイアイ	12	金	
13	水	ぱんだ組・きりん組誕生会 きりん組 日フィル演奏会 13:45~ ②	13	土	
14	木	運動遊び ◆令和6年度長時間保育児入園選考 ③	14	日	
15	金	うさぎ組学級保護者会 ④	15	月	
16	土		16	火	③保育参加参観始
17	日		17	水	アイアイ ◆:研究会参加のため
18	月	ぱんだ組学級保護者会 ④ きりん組大宮小1年生との交流 ⑤	18	木	⑤大宮小1年生との交流 ④個人面談始
19	火	きりん組学級保護者会 ④	19	金	
20	水	お楽しみ会	20	土	
21	木	☀弁当終わり ⑥	21	日	
22	金	◆終業式 ⑦	22	月	
23	土	☀冬季休業日開始	23	火	
24	日		24	水	④⑤誕生会
25	月		25	木	運動遊び
26	火		26	金	③誕生会
27	水		27	土	
28	木	☆グループ年内最終登園日	28	日	
29	金	(12/29~1/3年末年始のため休園)	29	月	
30	土		30	火	
31	日		31	水	アイアイ

・ 今月の指導 ・

うさぎ組

学級の友達のしていることに興味をもち、同じようにやってみたいという気持ちが見られるようになりました。友達の眩きを聞いて、「ぼくもやる！」と自分から遊びに加わり、同じものを作ったり持ったりして一緒に動くことを楽しんでいます。そこからお話の世界をなぞって動くごっこ遊びや、〇〇屋さんごっこなど、学級の友達と一緒に動くことの楽しさにもつながっていきます。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

○友達や保育者と関わりながら一緒に遊ぶ楽しさや面白さを味わう。

○寒さに負けず、思い切り身体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。

早朝と日中の寒暖差が激しく、鼻水や咳が出ている姿が見られます。園では、気付いた時に鼻をすぐかむことや、服の袖で口元を覆って咳をすることなど、みんなが心地よく過ごせるためのマナーを繰り返し知らせています。ご家庭でも気付いた時に知らせていきたいと思います。

ばんだ組

11月は学級の友達と一緒に水族館へ行って水族館ごっこをしたり、友達と一緒に体を動かしたりと「一緒」が嬉しい姿が多くみられていました。また、自分のやりたいことをじっくりと遊ぶことも楽しんでいます。たくさんの自分の思いを友達に伝えようとしています。うまく伝わらなかつたり聞いてもらえなかつたりすることもあります。一人ひとりの思いを受け止めながら一緒に考えています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

○自分の思いや考えを言葉や動きで表し、友達とのやりとりを楽しむ。

○遊びや生活の中で、学級の友達とみんなで活動する楽しさを味わう。

○簡単なストーリーの中で動いたり、動物になったりして表現することを楽しむ。

堀ノ内劇場では、学級の中で自分なりに表現する楽しさを感じられるように支えています。楽しみにする一方で、緊張する姿が見られると思います。暖かい応援をよろしく願います。

きりん組

10月の後半から絵本のお話で劇ごっこを楽しんできたきりん組。「今度は大好きな『11ぴきのねこ』のお話でやってみよう」ということになりました。劇ごっこを進めていく中で必要なものを自分たちで作っていくようにもなりました。自分なりに作り方を工夫したり、友達同士で教え合ったりして進めています。自分のよさを生かしながら、学級のみんなと『劇ごっこをする』というめあてに向かって活動に取り組んでいます。

○友達と共通の目的に向けて、自分の力を発揮したり友達のよさを受け止め合ったりしながら遊びや活動に取り組んでいく。

○自分のめあてをもち、いろいろな運動遊びに挑戦する。

堀ノ内劇場に向けて期待をもって活動に取り組む一方で、緊張で不安になる姿もあると思います。一人ひとりが学級の中で得意なことを生かし、それぞれが楽しむ姿をお見せできるようにしていきます。

秋から冬に向かうにあたり、気温が低くなってきました。体調を崩すお子さんも増えています。『早寝早起き朝ごはん』基本に立ち返り、体調を整えていきたいと思います。

また、園では薄着や半ズボンを推奨しています。体を作っていく幼児期に、寒暖にさらされることは自律神経の発達を促し、将来の健康的な生活につながります。気温が低い登降園時には上着等が必要なお子さんもいることと思います。しかし、日中は気温が上がりますし、保育室内は思いのほか暖かいので、上着の下は、自分で調節をしやすい重ね着が良いです。(例えば、綿などの下着や半袖Tシャツの上にトレーナー等)